確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン【学校評価計画書】

堺市立浜寺中学校
校長 川端 一生

中学校区におけるめざす子ども像
◎自らを律し、自ら学び続ける子 ◎自ら課題を見出し、解決する子 ◎互いを思いやり、認め合う子 ◎規則正しい生活と運動で、健康的な生活をおくる子

令和7年度 重点目標 「子どもたちの主体性を育む学校」 ○ICTを活用し、主体的・協働的・探究的な授業の実施～浜中クローバーを通して～ ○平和を愛し、多様性を認め合い、相手を思いやる豊かな心の育成を目指した人権教育の実施 ○生徒が自発的・主体的に成長・発達する過程を支える生徒指導の実施～対話による気づきを通して～	
確かな学びの現状 ・「授業がわかりやすい」と答えた生徒は、83%であり向うの余地がある。ICTの活用を前提とした授業改善に入り組むことで改善に臨む。 ・「学習習慣の定着」については、「家庭での学習時間が増えた」と肯定する生徒の割合が60%、保護者の割合が48%となっており大きな課題である。	豊かな心・健やかな体の現状 ・「学校は楽しい」、「よくあいさつしている」の肯定的回答は90%を超え良好ではある。さらに不登校生徒数減少や人権意識の向上、いじめや差別を許さない学校風土の醸成を図る。 ・生徒に「自分たちの学校は自分たちで創る」という意識向上のために、生徒会活動中心に取り組みを行ってきた。さらに主体的に取り組むことで自己肯定感を高める。生徒アンケート「生徒会活動や委員会活動、部活動ががんばっている」の肯定的回答が最終結果87%、「よくあいさつしている」の肯定的回答率が最終結果92%。

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組 ★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～12月)	達成状況(年度末)	
								自己評価	学校関係者評価
確かな学び	授業づくり	○「浜中クローバー」の取り組みを通してICTを活用し、仲間と共に協力し合い、主体的に授業に取り組む生徒の育成。 ○個々の生徒に対するきめ細かな指導・支援を行った学力向上。 ○1年国語科、3年英語科において少人数習熟度別の授業を実施した学力向上。 ○教師全員が一人一回以上は授業を公開し、学期に1回の子どもたちの学びの事実のリフレクションを中心に協議をする研究授業の実施。	●ICTの活用を推進し、仲間とともに主体的に授業に向かう生徒の育成を図る。 ・学期に1回教職員研修を実施し、授業改善に取り組む。	「授業はわかりやすい」と肯定する生徒の割合(90%)	学校教育アンケート	3学期			
			●少人数授業や習熟度別学習の充実を図り、学びをあきらめない生徒の育成をめざす。	「少人数授業やTT授業はわかりやすい」と肯定する生徒の割合(90%)	学校教育アンケート	3学期			
豊かな心・健やかな体	家庭学習の定着	○家庭での学習習慣の定着。	●生徒用パソコンの持ち帰りや「放課後学習」「浜中まなサポ」を進め、自ら学習する姿勢の育成を図る。 ・生徒用パソコンを活用した家庭学習に取り組む。	「家庭での学習時間が増えた」と肯定する生徒の割合(70%)	学校教育アンケート	3学期			
			・子どもたちの学びに対する意欲向上に向けた授業改善を目的とした教員による相互授業参観を行い、小中一貫教育を推進する。						
豊かな心・健やかな体	人権教育の推進	○人権教育を推進し、生徒の自尊感情が高め、いじめや差別を許さない風土の醸成を図る。 ・個性を尊重し、多様性を認め合い、お互いを思いやる心の育成。	●人権学習の取り組みを通して、自分のよさを知り、他人を思いやり寄り添える生徒を育成する。 ●人権5部会の取り組みを進め、系統立てた人権教育を実施するシステムを構築する。	「学校は楽しい。」と肯定する生徒の割合(前年度94%以上)	学校教育アンケート	3学期			
			・授業や行事、様々な取組の場面で、クラスの仲間と協働し、支え合える生徒の育成。						
豊かな心・健やかな体	豊かな心・健やかな体の育成	○生徒会・委員会活動や部活動を通して、主体的に学校づくりに参画し、最後までやり抜く力、マナー、礼儀を学ぶ取り組みの実施。 ○あいさつを通して他者とのつながりを大切にし、社会性や共感力をもった生徒の育成。	・生徒の自主活動を高め、学校生活を充実させる。 ●体育大会、文化活動発表会をはじめとした学校行事を生徒主導の運営で行う。	「生徒会活動や委員会活動、部活動ががんばっている」と肯定する生徒の割合(90%)	学校教育アンケート	3学期			
			★生徒が主体となった「あいさつ運動」の実施。	「よくあいさつしている。」と肯定する生徒の割合(100%)	学校教育アンケート	3学期			
信頼される学校	開かれた学校	○生徒に意見表明の機会を与え、対話を重視した生徒指導の実施。 ○ホームページやtetoruを活用し、情報を適切に公開した信頼される学校づくり。	●定期的な教育相談機会の設定。	「自分たちの話をよく聞いてくれ、相談できる先生がいる」と肯定する生徒の割合(80%)	学校教育アンケート	3学期			
			・HPやtetoruによる教育活動の情報発信を行う。	「学校の様子や学習内容を懇話や各種の通信、ホームページなどで知ることができる。」と肯定する保護者の割合(前年度94%以上)	学校教育アンケート	3学期			

校長より(年度末)	学校関係者評価者から(年度末)
-----------	-----------------